

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公開番号】特開2009-148319(P2009-148319A)

【公開日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-027

【出願番号】特願2007-326539(P2007-326539)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月24日(2010.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持対象に対して開閉可能に支持された開閉体と、

当該開閉体の背面側又は後方に設けられ、外部電源から供給される電力に基づいて動作する電気機器と、

前記外部電源からの電力供給が行われている状況では第 1 位置に移動し、電力供給が遮断されている状況では第 2 位置に移動する移動体と、

前記開閉体が開放された状態では、前記移動体における第 1 位置及び第 2 位置の両位置間での移動を許容し、前記開閉体が閉じた状態では、前記移動体における両位置間での移動を規制する規制部と、

少なくとも前記外部電源から電力供給が開始された場合に、前記移動体の位置を検知する検知手段と

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記規制部は、前記移動体の両位置間での移動を規制する規制状態と、前記移動体の移動を許容する許容状態とに、前記開閉体の開閉に伴って切り替え可能に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記規制部は、前記移動体の移動経路上の位置と、移動経路から離れた位置とで切り替え可能に設定され、

前記支持対象及び前記開閉体のうちいずれか一方が前記移動体を備え、他方が前記規制部を備えていることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記移動体を前記第 2 位置に向かって常時付勢する第 2 位置付勢手段と、

前記外部電源からの電力が供給されている状況にて、前記移動体を前記第 1 位置に向かって付勢する第 1 位置付勢手段と  
を備え、

前記第 1 位置付勢手段の付勢力が前記第 2 位置付勢手段の付勢力よりも大きく設定されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 つに記載の遊技機。

**【請求項 5】**

前記検知手段は、外部電源からの電力供給が行われている状況において信号を発する送信部と、前記開閉体が閉じた状態で前記信号を受信可能な受信部とを少なくとも備え、

前記移動体が第 2 位置にある状態では、当該移動体によって、前記送信部から発せられた信号が前記受信部に到達する前に遮蔽され、

前記送信部から発せられた信号が前記開閉体の閉状態でのみ通過可能な信号通過経路を備え、前記信号通過経路は少なくとも前記開閉体と前記支持対象との境界領域に設定されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 つに記載の遊技機。